

早春の候、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年末には教育活動アンケートにご回答をいただきありがとうございました。子どもへの生活調査と職員の振り返り等を合わせて分析をした評価結果と学校評議員の方々によります学校関係者評価の結果を報告させていただきます。来年度の取組にしっかりと生かしていきたいと思っております。

A…そう思う B…どちらかと言えばそう思う C…どちらかと言えばそう思わない D…そう思わない E…わからない

項目	質問	質問内容	A	B	C	D	E	関連する主な事柄
開かれた学校づくり	①	学校は、教育方針や教育活動の様子を分かりやすく伝えている。	49%	47%	3%	1%	0%	学校だより・学年通信、ホームページ、新聞記事掲載
	②	学校は、保護者や地域の方が子どもたちの様子を知る機会を設けている。	48%	49%	3%	0%	0%	授業参観、運動会（地域参加プログラムの導入）、音楽会、オープンスクール
信頼される学校づくり	③	学校は、保護者からの問い合わせや訪問に対して、ていねいに対応している。	54%	40%	5%	1%	0%	職員の電話対応や接遇
	④	学校は、保護者や地域の声を教育活動に生かそうと努めている。	38%	54%	7%	1%	0%	P T A委員会、教育活動アンケート、学校評議員会
学習環境づくり	⑤	学校は、校舎内外をきれいし、落ち着いた学習環境の整備に努めている。	52%	43%	5%	0%	0%	校内の掲示、校舎内外の様子、清掃活動、奉仕作業
学力の向上	⑥	学校は、子どもたちに基礎的な学力が身につくように努めている。	48%	46%	3%	2%	1%	朝の学習タイム、複数の教師によるきめ細かな授業の推進、「勉強の仕方7つの約束」の指導、家庭学習の手引き、わくわく学級、英語教育支援事業
	⑦	学校は、子どもたちに学習の習慣を身につけさせるとともに、学習意欲を高めようとしている。	47%	47%	5%	0%	1%	
道徳教育や人権教育の充実	⑧	学校は、生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てることに努めている。	49%	43%	5%	0%	3%	道徳参観・人権学習、広島平和学習、福祉教育（手話・アイマスク・リハビリテーションセンターとの交流）、ふれあい学級、アンケート等によるいじめの早期発見・対応、アミーゴタイム
	⑨	学校は、子ども一人一人を大切に、いじめのない仲間づくりに努めている。	38%	49%	11%	0%	2%	
生活指導	⑩	子どもは、家族や友だち、地域の人々に進んであいさつをしている。	43%	48%	5%	1%	3%	「ほんだっ子10の約束」の指導、あいさつ運動、連絡メールシステムの活用、連絡帳の活用、教育相談、サポートルーム、家庭訪問、生活アンケート
	⑪	子どもは、楽しく登校している。	61%	32%	7%	0%	0%	
	⑫	学校は、子どもや保護者との連絡や相談に適切に対応している。	54%	42%	3%	1%	0%	
健康教育安全指導	⑬	学校は、子どもが安全で健やかな生活を送れるよう努めている。	56%	42%	2%	0%	0%	避難・防災訓練、見守りボランティア事業、保健室だより、歯磨き指導、スポーツ活動（陸上、スポーツ少年団）
郷土愛・地域との連携	⑭	学校は、地域に対する誇りや愛着を育てよう努めている。	52%	44%	2%	0%	2%	ふるさと大好き事業（ウォークラリー、太鼓づくり、校区探検等）、スポーツクラブ21誉田、公民館、隣保館等との連携
	⑮	学校は、地域の関係団体・施設や地域の方々との連携・交流を積極的に進めている。	52%	44%	3%	0%	1%	

## 【結果と考察】

質問番号	分析結果と改善方策
①	A・Bと回答された方を合わせると、この3年間94%、91%、96%と高く評価されています。「誉田小だより」や随時出される学級通信、学校ホームページで日々の児童の学習や生活の様子をお知らせすることで、教育活動を地域や保護者の方に知っていただくことができました。来年度も、ホームページや学級通信、「誉田小だより」により、教育活動をより分かりやすく伝えていきます。
②	A・Bと回答された方を合わせると、この3年間95%、97%、97%と高く評価されています。運動会、音楽会をはじめ、年4回の授業参観、オープンスクール、ウォークラリーや誉隣保館まつりへの参加で、保護者や地域の方に児童の様子を見ていただきました。各行事へも改善内容を含め、たくさんの感想をいただきました。来年度も、内容に検討を加え、児童の様子を知っていただく機会を大切にしていきます。
③	昨年、A・Bの回答が、95%から90%に下がったことをふまえて取り組んだ結果、今年は94%の肯定的回答を得ることができました。電話対応、来客への挨拶や声かけなど素早い対応をするとともに、保護者からの問い合わせに的確に対応できた結果と捉えています。今後も、保護者や地域の人々の意見・要望等に対しては、全ての教職員がていねいな対応に努め、開かれた学校、信頼される学校づくりに努めていきます。
④	A・Bと回答された方を合わせると、昨年の85%から92%となっています。過去3年間の80%台からの上昇に、今年の活動の成果を感じました。しかし、アンケートの記述欄には、冬の服装への意見や児童の減少によるP T A活動や子ども会活動見直しへの記述がありました。服装等については改善案を提案すると共に、今後もP T A、子ども会と連携して改善に努めていきます。今後も皆様から頂いたご意見を真摯に受け止め、スピード感をもって対応し、連携を深めていきます。

⑤	A・Bと回答された方は、昨年より少し増え、95%となっています。本校では、玄関や階段の踊り場に花をかざり、運動場の花壇には季節に合った花を植えています。夏休みには、PTA奉仕作業で、校舎内外の環境も整えていただきました。これからも日々の清掃活動に力を入れるとともに、学習活動の基盤となる教室環境も、支援の必要な児童へ配慮した掲示物の貼り方や持ち物の整理整頓などにも気をつけ、学習に集中できるよう落ち着いた学習環境づくりにも努めていきます。
⑥	A・Bと回答された方は昨年度の93%とほぼ同じ94%となっています。本校は、今年度、新学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、外部講師を招聘して授業研究に取り組みました。また、来年度からの移行期間を見据えて、3・4年の外国語活動と、5・6年の外国語にもALT以外の外国語指導補助員と複数での授業を実施しました。また複数の教師が関わるきめ細かな授業の推進、算数教室・サポートルームにおける補充学習の充実に努めています。今後も、一層の学力の向上をめざして取り組んでいきます。
⑦	A・Bと回答された方が昨年度の83%から94%と増えています。今年度は、基本的学習習慣を確立するため、「勉強の仕方7つの約束」の指導の徹底に努め、「家庭学習の手引き」を発行したり放課後補充学習（わくわく学級）を実施したりして家庭学習が充実したものとなるよう家庭への啓発を行ってきました。また、読書週間や本の読み聞かせなど「読書活動」にも積極的に取り組んできました。今後も、龍野東中校区「家庭学習の手引き」を活用して学習習慣を身につけさせるとともに、児童が意欲的に学習に取り組めるようさらに研修を進めていきます。
⑧	A・Bと回答された方を合わせると92%でした。学校では、道徳教育や人権教育を中心に、しっかりとした規範意識を培い、他人を思いやる心を育てていこうと考えています。今年度も、子どもたちから募集した人権標語を廊下に掲示し、日常生活の中でも人権を意識するよう取り組んでいます。また、地域教材を扱った授業を引き継ぎ、学校内で公開することで、全職員が共通理解し、見通しをもって系統的に人権学習ができるよう取り組みました。来年度から「特別の教科道徳」が始まります。道徳教育の充実に向けて研修を深めていきます。
⑨	A・Bと回答された方を合わせると昨年の85%から87%と少し増えています。本校では、道徳・人権学習をはじめとして、「縦割り班」を通じて、遊びや交流給食など仲間づくりのできる活動を行っています。今年度も、子どもたちが気軽に相談や学習にきて、心休める場所となるように設置しているサポートルームで、スクールカウンセラーによる相談も定期的に行えるようにしました。また、子どもの実態把握をするために、学期に1回「生活アンケート」と月に1回「心の健康カード」を書く機会を設け、日頃の悩みを気軽に書けるよう取り組みました。今後も、学校と家庭が一体となり、「いじめは許さない」姿勢で指導を行います。
⑩	A・Bと回答された方は昨年の82%から91%と増えています。本校では、2年前から、朝、校門に企画委員4名と、6年生2名が交代しながら立って、あいさつ運動をしています。また、一斉下校や児童朝会などで機会があるごとに、あいさつや返事について意識して指導してきました。しかし、児童アンケートにおいて「自分からあいさつをしている」と回答したのは、昨年83%から78%と減っています。児童自らもあいさつしていると自信をもって言えるように今後も「顔を見て」「大きな声で」というあいさつの仕方を指導していきます。
⑪	A・Bと回答された方を合わせると93%（昨年95%）でした。児童アンケートにおいても、92%（96%）の児童が、学校が「とても楽しい」「楽しい」と回答しています。多くの児童は、毎日楽しく登校していますが、昨年と比較すると若干の減少が見られます。今後もさらに、全教職員で児童への声かけ（頑張りを認めたり褒めたりする）や友だち関係の観察、児童理解研修の充実に努めるなどして、児童の内面的な理解や課題の解決に努めていきます。
⑫	A・Bと回答された方は昨年の93%から96%と少し増えています。保護者からの相談を受けた場合は、必要に応じて全教職員で問題点を共通理解し、早期解決できるよう努力しました。1学期末と2学期末の個別懇談（希望者）では、普段の悩みなどを話せる場となり、効果がありました。さらに保護者に「学校ではいろいろな教育相談を実施している」ことを周知し、充実に努めていきます。また、児童の様子で気になることがあった場合は、その日のうちに連絡帳や電話、家庭訪問等で連絡します。
⑬	A・Bと回答された方を合わせると、98%と高い評価を得ています。安全・安心の取組としては、引き渡し訓練、火災・地震を想定した避難訓練などを実施しています。訓練の時間帯を授業中、休憩時間などさまざまな時間帯に設定し、児童自身が自分で考え判断し行動できることをねらいとしました。「PTA児童の見守りボランティア」においては、PTAや地域の方々のご協力により、登下校を中心に児童の安全を見守っていただき、下校放送についても定着しています。
⑭	両設問ともA・Bと回答された方を合わせると昨年の90%を上回って95%以上の評価を得ることができました。18回目のウォークラリーでは、地域のことをしっかり学ぶことができ、非常に意義あるものになっています。誉田町のことを誇りに思う児童を育てるために、さらに地域や家庭と連携しながら教育活動をしていきます。また、地域の方々の協力を得て実施している皮革工場見学、革細工、太鼓づくり、豆腐づくりなどのふるさと体験活動は、地域の産業のことをさらに知り、誉田町を誇りに思える児童を育てる良い機会となっています。6年生が毎年参加している広島平和学習では、地域の方から戦争について話を聞くことができる貴重な行事であり、学校、地域、家庭が一緒になって平和について学ぶことができる他校にはない特色ある活動となっています。誉隣保館まつりでは、各学年で自分たちが学習してきたことを地域に発表すると共に、「革細工」や「昔遊び」などの、地域の方々とのふれあいを深める良い機会となっています。これからはさらに地域の方々との連携を深めていきます。
⑮	

## 【次年度、学校運営に反映する新たな取組】

- ① 新教育課程実施並びに移行期間としての各領域での取組（特別の教科 道徳、外国語活動・外国語科、キャリア教育、人権教育など） ② 「主体的・対話的で深い学び」への授業研究 ③ ファイル基準表の効果的な活用（職員会議・分掌引継ぎ事務）  
 ④ 自主性を生かした特別活動の推進・縦割り班活動の充実（班遊び・交流清掃・交流給食等） ⑤ 時間割（月・木曜日）の検証 ⑥ 学校園連携一貫教育の推進 ⑦ 「くらしの決まりと努力事項」の検証

## 【学校関係者評価】（自治会、婦人会、老人クラブ、PTA、民生委員 各代表からのご意見）

○学校は様々な取組をしっかりとやっている。 ○適正な自己評価が行えている。 ○新教育課程に向けた、学校の工夫や取組がわかった。 ○地域や保護者とよく連携できている。 ○学期に1回「生活アンケート」と月に1回「心の健康カード」を通して、教師が一つ一つ丁寧にアンテナを張って対応することによって、細かな生活指導ができている。 ○児童はよく挨拶ができている。大人も元気に挨拶をすることが大切。 ○特別支援教育について、地域・家庭でも理解を深めていく必要がある。 ○先生の勤務時間が長すぎて大変だ。意識改革も困難。新しいことをするのも大切だが、なくしたりやめたりする勇気も必要。 ○学校だよりや学年通信等によって、学校の様子や校長の方針がよくわかった。 ○冬の服装については、いろいろな考えがあるがどう対応していくのか。→ 学校でもかなりの時間をかけて話し合いをした。東中校区のことや環境や気温も考慮の上、子どもたちの健康を第一に考えて新しい案を新年度に提案させていただく。 ○玄関などいつ見てもきれいに花が飾っており、全体としても整っている。